

# 個別企業 調査レポート

(〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司)

 株式会社 矢野経済研究所

2014年6月作成

\*このレポートは、各種公開資料（各地区、各レベルの工商行政管理局や科学技術局、環境保護局、発展改革委員会、株式上場企業の年報など）により矢野経済研究所が作成したもので、記載内容について損害弁償の責を負いません。

企業概要			
社名	○○○○○○○○有限公司		
英語表記	○○○ Wires&Cables CO., Ltd.		
中国語表記	○○○○○○○○有限公司		
URL	http://www.○○○○○○○○.com		
所在地	(本店) 〒315801 浙江省○○市○○路○○○号		
設立日	1998年10月22日	資本金	XX,XXX 万元 (2014年5月現在)
企業形態	株式会社	代表者	○○○
業種	電気機械・機材製造業 (電線電纜製造業)		
事業内容 (登録上)	❖ 電線電纜の研究開発、生産販売 <div style="text-align: right; border: 1px solid red; border-radius: 5px; padding: 2px;">見本</div>		
従業員数	XXX名 (内、技術者 XX名) (2013年末)		
経営状況	【売上高】(連結) ○○,529 万元 (2012年) ○○,527 万元 (2013年)		
その他	同社の前身は、○○○○○○○○有限公司である。 中国の海底ケーブル関連規格 (JB/T11167-2011 など) の作成に参加した。 自社で埠頭の使用权 (○○市○○○港、2058年2月まで有効期間) を取得している。		

\*このレポートにおける貨幣の単位は、特記しない限りは「人民元」をさす。1元は約16円。

## 株 主 状 況

### 【主要株主】

〇〇〇集团有限公司	(出資比率 50.1%)
〇〇〇	(出資比率 16.3%)
〇〇〇科技投資有限公司	(出資比率 8.2%)
〇〇經濟技術開發区〇〇投資有限公司	(出資比率 6.0%)
〇〇市〇〇投資有限公司	(出資比率4.0%)

### 【関連子会社】

〇〇〇〇〇〇〇有限公司は、3つの子会社を設けている。

#### ①〇〇〇〇〇〇有限公司

所在地：山東省〇〇市〇〇工業区

設立年月：2003年11月

資本金：2,000万元

事業内容：電線電纜、通信ケーブルの生産、販売

主要株主：〇〇〇電纜股分有限公司（出資比率 100%）

その他：2013年売上高〇〇〇万元、純利益額 205 万元

見本

#### ②〇〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司

所在地：〇〇〇省〇〇〇市高新区

設立年月：2007年2月

資本金：2,000万元

事業内容：海洋工事、水中工事、海底ケーブル、パイプ敷設、保守工事。海底ケーブル、アンビリカルケーブル及びそれらの付属品の研究開発、技術コンサルティング、製造、販売。工事探査、設計、高分子材料、金属材料の研究開発、技術コンサルティング、販売。

主要株主：〇〇〇〇〇〇〇有限公司（出資比率 100%）

その他：2013年売上高 1,872 万元、純利益額〇〇万元

#### ③〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司

所在地：〇〇省〇〇市

設立年月：2013年12月

資本金：1,080 万元

事業内容：海底石油ガス探査開発及び海洋新エネルギーのダイナミックケーブルシステム、アンビリアルケーブルシステム及び関連付属品、関連制御システムの設計、製造、組み立て、販売、技術コンサルティング、アフターサービス。海洋繊維織り強化ソフトパイプ組み立て。輸出入業務。

主要株主：〇〇〇〇〇〇〇有限公司（出資比率 100%）

その他：2013 年売上高は 0 元、純利益額は 0.14 万元。

## 主力製品

❖ 同社の主力製品としては、次の 5 種類ある。特に海底ケーブル、高圧電力ケーブルに重点を置いている。

- ・海底ケーブル（高圧・中圧・低圧海底ケーブル、アンビリアルケーブル及び同付属品）
- ・電力ケーブル（高圧・中圧・低圧架橋ポリエチレン電力ケーブル、35 kV 以下の制御ケーブル等）
- ・電気装備用電線電纜（原子力発電所用 1E 級 K3 ケーブル、軌道交通用ケーブル、定格 450/750kV 以上の PVC 絶縁ケーブル、ソフトケーブル等）
- ・通信ケーブル（データ通信用 Utp Cat5 4p ケーブル、UTP CAT6 4P ケーブル）
- ・同心より線

❖ 2013 年製品別売上高

製品別	売上高（万元）	構成比（%）
電力ケーブル	〇〇〇	〇〇〇
海底ケーブル	14,888	〇〇
電気装備用ケーブル	〇〇	6.0
通信ケーブル	1,196	〇〇
同心より線	〇〇	0.0
その他	393	〇〇
合計	〇〇〇	100.0

## 生産基地

- ❖ 同社は高圧ケーブル・海底ケーブル、特殊ケーブル、中圧ケーブルという3つの生産基地を設けている。それぞれに本社の〇〇省〇〇市及び山東省〇〇市に設けられている。
- ❖ 2013年製品別生産能力及びその生産販売状況

製品別	生産能力	生産量	販売量
海底ケーブル	440 km	〇〇km	〇〇km
高圧電力ケーブル		〇〇km	264 km
中圧・低圧ケーブル	〇〇km	22,777	〇〇km
電力ケーブル	-	〇〇km	22,533 km
電気装備用ケーブル	43,000 km	3 見本	〇〇km
通信ケーブル	〇〇	10,308	10,795
同心より線	180t	〇〇t	〇〇t

## そ の 他

### 【特許権類取得状況】

- ❖ XX 件の知的財産権（内、特許は XX 件、実用新案は XX 件）を取得している。それに X 件の特許を申請しているところである。  
すでに取得した水中ケーブル敷設専用設備などの特許が挙げられる。


### 【その他関連情報】

- ❖ 2013 年の研究開発費用は〇〇〇万円で、売上高の X. X%を占めている。  
自社で技術センターを設けている。主な研究方向は海底ケーブル、アンビリカルケーブル及びその付属品、高圧電力ケーブル、スマートグリッド用光繊維複合ケーブル（OPLC、OPMC）とされている。
- ❖ 会社の組織部門には販売管理センター（〇〇〇事業部、〇〇〇事業部、〇〇〇部、ルート販売事業部、ビジネス企画部、物流包装部など）、企業技術センター、生産管理センター（高圧海底ケーブル事業部、特殊ケーブル事業部、中圧ケーブル事業部など）、品質保証部（高圧海底ケーブル事業部品質管理課など）、企画財務部、社長室、管理システム OIMS 室、人事部、購買部などがある。
- ❖ 製品販売方式は、直販及び代理販売を採用している。直販は主に同社の電網事業部、海洋装備事業部、海洋工事事業部が担当し、入札により見本している。  
また、代理販売による売上高は同社売上高全体の約 15%を占めている。主な代理販売業者は、次の数社が挙げられる。
  - ・ 〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司  
（2013 年同社製品の代理販売金額は 2,543 万円で、粗利益率は〇〇%）
  - ・ 〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司及び〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司  
（この 2 社の代表者同一人である。2013 年同社製品の代理販売金額は〇〇万円で、粗利益率は 12.8%）
  - ・ 〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司  
（2013 年同社製品の代理販売金額は X,XXX 万円で、粗利益率は〇〇%）
  - ・ 〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司  
（2013 年同社製品の代理販売金額は X,XXX 万円で、粗利益率は 12.7%）
- ❖ 〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司の海底ケーブル市場シェアについては、35kV 以下は 14%（2013 年落札金額）で、110kV 以上は 20%である。直近 3 年の落札金額でみると、平均し

て4割を占めている。特に、110kV以上のシェアは66%になっている。

- ❖ 電力ケーブル製品分野における同社の競合企業は○○○○、○○○○○○○○有限公司、○○股分、○○○○○○○○有限公司、○○○○○○有限公司などが挙げられている。また、海底ケーブル製品分野における同社の競合企業はネクサンス(Nexans)、○○○○○○(○○○○)、ABB、日本の○○○○、中国国内の○○科技、上海○○、○○股分、湖北○○などが挙げられる。
- ❖ 同社の海底ケーブルはインドネシアの○○○社、○○の送電工事、福建○○○○プロジェクトなどの工事に使用されている。
- ❖ 同社の主要原料は銅、アルミ、絶縁材、被覆材料、遮蔽材、合金鉛、スチールワイヤなどがある。また、主な仕入先には○○(○○)○○○○有限公司、○○○○○○有限公司、○○○○銅業有限公司、○○○○有限公司、○○○○○○○○○○有限公司などがある。また、中圧・高圧・超高压ケーブル用超クリーン絶縁材料DOW、Borealisなどがある。
- ❖ 同社製品の主要販売地域は○○地区で、売上高全体のXX%を占めている。輸出は売上高全体の1.6%に留まっている。
- ❖ ○○○社の主要納入先は電力関係(売上高全体の71.3%、○○省電力会社など)、電気通信関係(0.2%、中国電信など)、エネルギー関係(○○%、中国海洋石油総公司、中国石油化工集团公司など)が挙げられる。
- ❖ 2013年の主要顧客は国家电网上海市電力公司(売上高全体の○○%を占める)、○○電力有限公司(3.8%)、国家电网○○県供电公司(3.3%)、国家电网安徽省電力公司(2.8%)である。

【参考資料1】 電線電纜産業に関連する官公庁

関連機関	主な役割
国家発展・改革委員会産業政策司 ( <a href="http://gys.ndrc.gov.cn/">http://gys.ndrc.gov.cn/</a> )	電線電纜産業に関するマクロ制御管理
国家質量監督検験検疫総局 ( <a href="http://www.aqsiq.gov.cn/">http://www.aqsiq.gov.cn/</a> )	「工業製品生産許可証製品目録」により電線電纜製品に関する生産許可証制の執行
中国質量認証センター ( <a href="http://www.cqc.com.cn/">http://www.cqc.com.cn/</a> )	製品の安全性を保証するために、「強制性製品認証製品目録」により、一部電線電纜製品に関する強制認証（CCC認証）の執行
中国電気工業協会電線電纜分会 中国電子元件行業協会 ( <a href="http://www.wirecable.org.cn/">http://www.wirecable.org.cn/</a> ) ( <a href="http://www.ic-ceca.org.cn/">http://www.ic-ceca.org.cn/</a> )	市場や企業への指導など  <div style="text-align: right;">  </div>



## 【参考資料2】 拡大する中国の海底ケーブル市場

中国の海洋経済戦略の遂行、沿海都市及び離島の経済成長、海底石油ガス資源開発などの海洋工事、海上風力発電建設など分野での投資拡大につれ、中国における海底ケーブルの市場規模が拡大するとみられている。

ただし、現在、中国では110kV以下の海底ケーブルは生産できるが、220kVの海底ケーブルやアンビリカルケーブルを生産できる企業は数社しかない。

ちなみに、近年中国のGDP成長、特に海洋エネルギーの開発や送電網整備、超高压工事が盛んでいるため、中国の電線電纜産業が著しく伸びている。

年次	電線電纜出荷総額（億元）	対前年比（％）
2005年	2,829	-
2006年	4,181	147.8
2007年	〇〇〇	〇〇〇
2008年	6,887	123.9
2009年	見本	106.1
2010年	9,365	128.1
2011年	〇〇〇	〇〇〇
2012年	12,400	108.4

2013年末現在、中国における電線電纜メーカーは約1万社で、そのうち一定規模（年商2000万元以上）を有する企業は約4,000社である。大手メーカー（前20位）による市場シェアは20%弱である。

主力企業としては、〇〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司、〇〇股分、〇〇〇〇〇〇〇集团有限公司、〇〇〇〇〇有限公司、〇〇電纜、〇〇股分、〇〇〇〇〇〇〇有限公司、〇〇股分、中天科技などが挙げられる。

ただし、中国における海底ケーブルの生産力がまだ弱く、メーカーは10社弱留まっている。そのうち、110kV以上の海底ケーブルメーカーは〇〇科技、〇〇股分、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司の3社ないし4社はあるが、220kV以上の海底ケーブルメーカーは〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇有限公司のみ。

上記内容は、あくまでも一企業の事例です。

掲載する各企業の調査内容は、企業によって異なっていることをご了承ください。